

ほっと一息通信

こんにちは。久々の通信になりました。お元気ですか！



朝晩寒くなってきましたね

私のほうは春から氷見の方の現場で仕事をしていて、終わればすぐ自宅へ直通で事務所へはあまり行かなかつたりで、レターも書きそびれてだらだらと半年以上も経ってしまいました。

今年は雨が降ればとてつもなく降り、各地で被害が出て、今度は雨が上がったら雨がぜんぜん降らなくて暑さも記録を塗り換えるほどで凄かったですね。

熱中症という言葉は、昔は日射病と聞いていたと思いますが、熱中症は家の中にいてもなるということで驚きました。

あの暑いとき、私は「とうとう日本もアフリカになった。」と言いつつビール飲みまくりでした(笑)。

いつもレターの話は昔を思い出しての内容ですが、これが私は大変懐かしくもあり、なんだかゆったりした時間のような気がして好きです。

(子供のころだから当たり前かも知れませんが) これからの季節(秋)の野山(里山)の風景が一番好きです。

でも現在の野山ではありません。私が子供のころの野山です。

風景面に描いてあるあの風景が大好きです。

あの風景とはアスファルトの農道、コンクリートの用水、コンクリートのあぜ等の無いすべ

てが土のままの姿です。

稲刈りが終わって草も枯れはじめていて、山は紅葉の晩秋の風景が好きです。6月ごろの木々が緑の葉をつけてすべてが緑の風景も大好きです。

これは白川郷の風景ですがイメージは耕地整理のしていない曲がった田んぼです



私が子供のころは、そんな風景の

中で田んぼの用水などに入ってソウケでドジョウやフナを捕まえていたものです。

家の横のコンクリートの用水を見ると、底から10cm程水が流れていて小さな魚が泳いで入るではありませんか。

「おお、魚はいるんだ！」と驚いたのですが、その後何日か経ってのぞいて見ると用水には何と水が一滴も流れていません。「何と云うことでしょう」(ビフォーアフターのまね(笑)) こんなことでは魚は育ちません。

効率を優先して自然の営みを壊しているのは私たち自身です。

せめて1年中用水の水を少しずつでも流して止めないようにならないものかと思っています。

昔の風景が懐かしく感じるのは歳をとったせいでしょうか(笑)。

私は自然栽培とか自然について調べているからかも知れませんがとても気になります。

最近朝晩めっきり寒くなりなした。体調をくずさない様に気を付けて下さい。

これは何でしょう

私が氷見で
工事をして
いた家のこ
とです。

これは2階
の屋根の軒
裏と外壁の



板金の隙間に動物が頭を突っ込んでぶら下がって死んでいる状態です。

今回はこの場所の工事ではありませんが、この場所は2年前に外壁を張り替えた場所で私は思い出があるカ所なのです。

2年前の真夏で板金張り替えの工事ですが、この動物のぶら下がっている場所に3センチほどの穴が開いていて、大きなスズメバチが入り出して大変な場所で、板金の職人が恐ろしくて仕事が出来ないといってきたので、何でもしてみたい私は、命がけでしかもものすごい暑い晴れの日ヘルメットを被り合羽を着て長靴を履き草刈機用の面をかぶりハエタタキを片手に足場を上がって行き穴から出てくるハチや外から帰ってくるハチをハエタタキで落として瓦の上に約100匹ぐらい落としてやっと仕事を恐る恐るやってもらいました。

終わって合羽を脱ぎ長靴を抜いたら長靴の中に汗が大げさに言えば3分の一ぐらいちゃぷちゃぷたまっているではありませんか(笑)。

後でよく考えてみれば何と無謀なことをしていたのか、おそらく家の中の屋根裏に大きな巣があるには違いないのだから、専門の業者に駆除を依頼すればよかったと後で後悔しまくりです。

そうすればこの動物もこの穴に顔を突っ込まなくてもよかったかも？知れません。

お客様からは取ってくれと頼まれましたが、取ってしまうとまたハチが出てくるかも知れないのでビンのふたのようにそのままにしておいたらハチが出てこれなくなり死んでしまうと判断して今もそのままになっていると思います。

しかしこの動物はどうしてこんな高いところでしかも板金のすべすべの外壁を上がってきたのかわかりません。もしかしてムササビなら飛んでこれるのでムササビかもと思っていましたが、大工さんに聞いてみるとテンやと言うわかりません。



私の想像ですがこの動物はハチの巣を狙ってきたが口を突っ込んで逆にスズメバチにさ

されて死んだのではと思っています。ムササビは小さな穴からでも入ってくると聞いたことがありますが、こんな小さな穴に顔さえ入らないところにどうして？わかりません。でも驚いた出来事でした(笑)。

長浜に行ってきました

滋賀県長浜へ行ってきました。

お客様が長浜へ行かれて「イヤー長浜は人がたくさん来て活気にあふれていてにぎやかなところだった」と聞いていたので盆に行こうと思っていたのですが、高速が混んで行けそうになかったので、8月の終わりの日曜日の朝7時半ごろ出発して10時前に着きました。

意外と盆の後だったのか高速もすいていて

すいすい走れました。

土日はさぞかし高速は混んでいるだろうと思っ



ていました。意外と車が走ってなくてちょっと予想がはずれ残念

でした（笑）。長浜の町通りも聞いていたより人が少なかったのですが、昼ごろから人がだんだん増えて来てにぎやかになりました。



長浜の町は高山の町並みのようで高山より少し規模が小さいように思

ました。

町の中を歩いているとこの看板が目につ、立ち



寄って見てみますと浴槽のような水槽の中にめ

り少し大きい魚がたくさん泳いでいるではありませんか。

店の人に私は「この魚は何け」と聞くと店の人は「水槽の中に手を入れて見て」私は恐る恐る水槽の中に手を入れると何とばらばらに泳いで

いた魚が私の手のひらの周りに集まって来て私の手の皮膚に口をくっつけピチヨピチヨと口を動かしているではありませんか。



店の人に聞くとこの魚はドクターフィッシュという魚で人間の皮膚

の角質を食べる魚だそうです。インターネットで調べてみると外国ではアトピー性皮膚炎などの治療効果があり皮膚疾患の治療に使われているそうです。

ここでは看板に世界のドクター、エステが注目角質除去で肌改善、癒すフィッシュセラピー 5 分間 500 円 10 分間 800 円と書いてありましたが私と妻は 1 分間ほどでしたので無料でした。店の人の話ではこのめだかほどの魚 1 匹 1000 円だそうです。ここで魚も売っているとの事です。この魚はもっと大きくなるそうです。手を入れた感想はくすぐったいみたいな気持ちがいよよい気分でした。

家庭菜園その後 . . .

家庭菜園もなかなかわけに行きません。

ほったらかしていてもうまくいく訳がありませんね。

人から見れば「なんじゃこれは」と言いたくなるような見てくれです。

でも私はほったらかしでやろうと開き直っています（笑）。

去年の今頃。大根、ほうれん草、ねぎ、ナスの



これは畑とは誰も思わないでしょう(笑)

無農薬、無肥料の種をインターネットで購入して蒔いてみたのですが、大根は芽が出て少し伸びましたが、私の親指ほどにしかなかった。ナスは芽さえ出さず、ネギとほうれん草は芽は出たが育たずと言うあり様で全滅でした。

今年は心気一転地面から作ろうと思い、枝豆を植えてみました。全部の床に枝豆を植えてその間に去年から取ってあったこの畑で取れた、ササゲ、ツルマメの種を交互に植えてみました。その結果枝豆は順調に育ちたくさん食べさせてもらいました。

もちろんビールのつまみです(笑)。

ササゲは育ち、ある程度は食べましたが、他の畑のと違いササゲの木は私の頭のようにスカスカでよく育っているとはいえませんでした

(笑) ツルマメもたくさん種を蒔いたのですが、育ったのは1本だけで初めはだめかと思っていましたが、つるが伸びて一本の木が3本ほどの大きさに広がって少し食べるほどになり、これなら種を取れると思って喜んでいました。

しかし枝豆の種を取ることは出来ませんでした。種をとる時期が遅すぎたのか、又はホームセンターで買ってきたF1の種かわかりませんが、鞘を割ってみますと中の豆が柔らかくぐにやぐにやで腐っているようでまともな黄色い豆はありませんでした。

うーん、なかなかうまくいかないものです。

来年もあせらず地面作りに励みたいと思っています。

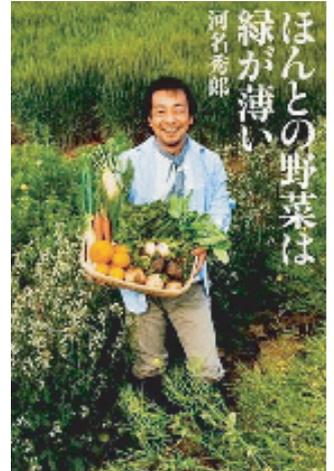
本をご紹介します

自然栽培の本を御紹介します。

その本は「ほんとの野菜は緑が薄い」河名秀郎 著 日本経済新聞社 ¥850 円。

この本も「りんごが教えてくれたこと」の木村秋則著と同じく野菜や果物は農薬・肥料・堆肥が無くても育つことが書いてありますし、発酵食品のことなど私たちが普通だと思っていることが普通ではないこと、驚くばかりです。

ぜひ秋の夜長の読書にお勧めしたい本です。



この方から始まりました

今回ご紹介いたしますのは高岡市米島にお住まいの吉川信一様ご夫妻です。私の事務所のある米島地内で初めてのお客様です。それから何回

仲むつまじい吉川様ご夫妻です



も工事をさせて頂き、御近所の方たちからその町内からも仕事をいただい

ており感謝いたしております。だんな様は大変几帳面な方で床下の中もものすごくきれいにされておられます。奥様も明るくて大変気さくな方で話しやすいし、おばあちゃんもとてもお元気で今も自転車に(3輪車)乗って用事に行っておられます。吉川様今回もありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。ちなみに一枚歯の下駄の持ち主は吉川様です。